

同音異義語

今回の学習のポイント

- ① 同音異義語とは？
- ② 同音異義語を使った言葉遊び

同音異義語とは？

「キシヤのキシヤがキシヤした。」

この文の意味がはっきりするように、「キシヤ」を適切な漢字(熟語)で表すと、

↓ 「**貴社**の記者が**帰社**した。」 となります。

このように、発音が同じで意味の異なる単語を「同音異義語」といいます。日本語は、英語や中国語などに比べて音の数(発音の区別)が非常に少なく限られているため、違う漢字、違う熟語であっても、同じ発音のものが多く存在しています。

〈例〉

- イギ (異義・意義・異議 など)
- カンキ (喚起・歓喜・寒気 など)
- サイコウ (最高・再考・採光 など)
- タイセイ (体制・態勢・耐性 など)

【発展】

間違えやすい同音異義語

傍線のカタカナ部分を漢字に直してみましよう。(答えは最後にあります)

1. ア 校庭をカイホウする。 () ()
- イ 重圧からカイホウされる。 () ()
2. ア 熱帯魚をカンシヨウする。 () ()
- イ 映画カンシヨウ。
3. ア 左右タイシヨウの図形。 () ()
- イ 高校生タイシヨウの行事。
- ウ タイシヨウ的な考え方。 () ()
4. ア 真理をツイキユウする。 () ()
- イ 責任をツイキユウする。 () ()
- ウ 利益をツイキユウする。 () ()

国語監修・執筆

中澤匠吾

